

平成 2 2 年度

第 1 回岡山市総合政策審議会保健福祉部会における主要な意見

- 1 日 時 平成 2 3 年 1 月 1 2 日 ( 水 ) 1 0 : 0 0 ~ 1 1 : 3 5
- 2 場 所 岡山市勤労者福祉センター 4 階 大会議室
- 3 出席者 委員 9 名
- 4 傍聴者 報道 2 社
- 5 議 題 ・ 発達障害児 ( 者 ) 支援体制整備のあり方についての報告 ( 案 )
- 6 主要な意見
  - ・ 義務教育修了後や就労後に働けなくなった場合に居場所がない。引きこもってしまった場合、家族も孤立してしまう場合があるので、その方々の最初の話聞いてくれる場所をつくってもらえるような支援センターができればよい。
  - ・ 就業の場で発達障害の特性についての理解があるとともに、就労継続の支援があれば、生活する場や暮らす場が増えていくのではないかと。
  - ・ 発達障害の理解を深めるような情報発信及び情報収集がセンター機能として重要である。
  - ・ 連携システムをしっかりと構築して欲しい。
  - ・ 安心して相談ができる窓口を作ってほしい。
  - ・ 支援施策と今後は経年的にどういうふうにしていくのか具体的にあればよい。
  - ・ 統計に基づいた企画立案と啓発が支援センターの中核機能であると思う。
  - ・ 支援センターだけで全ての発達障害者の支援をすることは不可能なので、一人一人の事例を通じて、所属している学校・会社など組織ぐるみで理解を深めるために何をしたらいいのかを考えるのが支援センターの役目ではないかと。
  - ・ センターの名称について、親しみやすいものにしてほしい。